

— 誇り・交流・夢 —



# うきは

No.52

平成30年2月1日

(平成29年12月議会号)

## 市議会だより

### CONTENTS

**つたえる** (上程された議案) …… 2~4

**市政を問う** (一般質問) …… 5~10

**委員会報告** (総務産業・厚生文教) …… 11~13

**議会報告会での意見・要望** …… 14~15

**請願・陳情** …… 15

**啓発活動・編集後記** …… 16



## つたえる



平成30年大石堰からの初日の出

### 上程された議案

- ◇ 専決処分（一般会計補正）
- ◇ 補正予算（一般会計及び特別会計）
- ◇ 農業委員会委員の任命
- ◇ 道路線の認定
- ◇ 字の区域変更
- ◇ 指定管理者の指定
- ◇ 条例の制定
- ◇ 条例の改正
- ◇ 陳情
- ◇ 追加議案
- ◇ 補正予算（一般会計及び特別予算）
- ◇ 条例の一部改正

4 7 1 3 2 6 1 1 1 5 1  
件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件

### 上程された議案

#### ◆ 専決処分の承認

解散に伴う衆議院議員総選挙費

1、181万2千円

#### ◆ 一般会計補正予算

#### ▽ 介護保険対策費

3、525万円

地域密着型施設等整備補助金

で、平成30年4月開設（定員18

名）予定の、浮羽クリニックによ

る認知症高齢者グループホームの

居宅施設整備を図るものです。

12月8日に招集された市議会定例会は、右記の上程された議案を審議し、全議案を議決して12日間の会期を終えました。

今回は、補正予算及び農業委員会法改正（平成28年4月）に伴う、農業委員の定数条例制定等につき、集中審議を行いました。

以下、議決された議案のうち、主なものについて、その概要をお伝えします。

### ▽地域支援事業費

117万5千円  
役員費・工事請負費・備品購入費等で、うきは市民センター内に新設する「地域包括支援センター」の移転に係る費用となっています。

### ▽民間保育所費

委託料 1、300万円  
御幸保育園及び遊林愛児園2園に対する保育士の処遇改善489万円、委託費単価改訂等811万円、国・県・市が3分の1ずつ負担を行うものです。

### ▽生活保護等総務費

4、309万1千円  
過年度生活保護費国庫負担金の返還を行うもので、主な内訳は、生活扶助費 1、700万7千円、医療扶助費 2、503万5千円  
返還した内容を分析し、次年度に活かすよう意見を出したところ  
です。

### ▽林業振興費

3、215万円  
7月5日の九州北部豪雨災害において、重機等が搬出できなくなったことによる新たな機材購入に対する国庫補助(50%)で、早急

な再整備を要するものであります。

### ▽商工業振興費

1、609万6千円  
産業振興奨励金として工場の設備投資に対し、3年間交付し、今回は日本精工九州に628万9千円、ROKI福岡に980万7千円を交付するものです。



日本精工九州

### ▽土木総務費

△495万2千円  
がけ地近接等危険住宅移転事業補助金について、今年度は対象物件がなかったための減額です。  
中山間地の人口減少を招く可能性などもあるが、必要な補助を必要市民が受けられるよう周知の徹底を求めました。

### ▽非常備消防費

1、561万円  
消防団員退職報奨金についての増額補正。  
監査の指摘により、今年度退職する退職報奨金を翌年度でなく、年度内に支払うためです。

### ▽学校管理費

574万2千円  
姫治小学校の御幸小学校への統合に関連する経費、スクールバス購入及び車庫設置工事の費用を、県の小・中学校統合支援事業補助金を活用して実施します。(スクールバスの空時間、地域交通への活用など引き続き検討)

### ◆特別会計補正予算 国民健康保険事業

一般管理費委託料  
(国保システム改修委託料) 99万9千円  
国保単位化によるものです。

### 下水道事業

一般管理費公課費2、342万円  
消費税等納付金につき、特定収入調整額の計算で、入れてはいけない償還金元金の金額を入れて計算

していたため調整額が大きく、申告額が小さくなっているため、5年間の修正申告及び還付の請求を行うよう指導を受けたものです。



下水道工事掘削状況

### ◆農業委員会委員の任命

平成30年3月19日任期満了による、新農業委員会委員16名が決定しました。(推進委員21名の選出は3月20日の臨時総会にて)

### 要望

校区・地域・農地面積及び再任者に偏り等がみられるので、農業推進委員(21名)の選出を含め、今後の農業委員会運営に、支障の無いように、要望するものです。



広大な農場



◆指定管理者の指定

▽うきは市総合福祉センター

指定管理者 うきは市

社会福祉協議会

期間 平成30年4月1日から

平成33年3月31日まで

▽うきは市ゆうゆうセンター

指定管理者 株式会社サン

アメニティ

期間 平成30年4月1日から

平成33年3月31日まで



ゆうゆうセンター内のふれあい荘

▽うきは市つづら棚田交流センター

指定管理者 つづら棚田

保全協議会

期間 平成30年4月1日から

平成33年3月31日まで

▽うきは市立総合体育館

指定管理者 コナミスポーツ・イオ

ンデライトグループ

期間 平成30年4月1日から

平成35年3月31日まで

▽コミュニティセンター

指定管理者 妹川・新川・田籠・

小塩・山春・大石・

千年・吉井・江南の

各自治協議会

期間 平成30年4月1日から

平成33年3月31日まで

御幸・福富についても、平成33年3月31日に統一しています。

◆条例の制定・改正

▽うきは市議会議員及びうきは市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

立候補しようとする人の負担を減らし、資産の多少にかかわらず、誰もが等しく立候補や選挙運動の機会をもてるようにするもの

※ 今まで県内では、うきは市を含む2市が公費負担ではありませんでした。  
あらかじめ候補者と契約した業者等を候補者が市選挙管理委員会に届出し、当該契約業者等が市へ請求する仕組みです。

です。

※ 今まで県内では、うきは市を含む2市が公費負担ではありませんでした。

あらかじめ候補者と契約した業者等を候補者が市選挙管理委員会に届出し、当該契約業者等が市へ請求する仕組みです。

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の改正に伴い、固定資産税の課税免除の対象条件等を規定し直す必要があるため全部改正を行うものです。

▽うきは市農村地域工業等導入地区及び企業立地の促進等による地域に対する固定資産税の課税免除に関する条例の全部を改正する条例の制定

【地域未来投資促進法】  
事業計画 主務大臣の確認を受けたもの  
対象業種 業種指定なし  
対象区域 市内全域（県内全域）  
取得価格要件 1億円超  
（農林漁業及びその関連業種にあつては5千万円超）

▽うきは市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定

追加議案

姫小小学校の御幸小学校への統合に関するものです。

◆補正予算・条例の一部改正

人事院勧告及び近隣市の状況を踏まえ、報酬・費用弁償・給与・旅費等を改正するものです。



うきは市役所へ東京オリンピック・パラリンピックのフラッグツアー訪問（H30.1.10）

補助金交付にはサンセット方式の取り入れを



さとう たんよう  
佐藤 湛陽 議員

その方式を含め適切な交付の

あり方を検討します(市長)

**佐藤** 終期を決めて原則廃止する方式を取り入れらうか。

**市長** サンセット方式は、例えば

原則3年といった終期を設定し、終期の到来時には改廃を含めゼロベースで見直すものですが、目的が曖昧なものや公益性や公平性を欠くものに対しては、その方式を含め補助金の交付のあり方を検討します。

**佐藤** 予算編成方針に行政改革推進委員会の答申は尊重されたのか。

**市長** 運営補助金で10%削減を指摘され、24年度以降の予算に反映させ、26年度予算においては、1、213万円の削減を行い、公共施設の有効活用については、29年3月に公共施設等総合管理計画を策定しました。

また、30年度の予算編成方針において、答申内容を十分検証した上で予算要求にあたるよう指示しています。

●●市長の欧州視察について

**佐藤** 欧州視察の感想は。

**市長** オランダとの交流では、国際感覚を身に付けるとともに、豊かな感性と文化力をつける教育推進のために、特に幼児を対象とした文化交流を進めます。

また、フランスの農業視察では、うきは市の耳納北麓一帯の丘陵が、ポルドー地方等と地勢地形が一致することが共有され、ブドウ栽培やワイン醸造技術に関して協力の申し出があつており、うきは市におけるその可能性について、調査研究をしていきます。



市長トップセールス

所有者不明の

土地・建物の検証



やみみず えいいち  
鎌水 英一 議員

法改正・新法案に期待し適切に

対処したいと考えています(市長)

**鎌水** 空き家等実態調査結果、776件、現在までの進捗状況は。

**市長** 市内居住者308件、市外居住者249件、所有者死亡213件、うち相続代表者、納税管理人の未届出22件、ほか所有者不明空き家6件となっています。

また、意向調査約600件実施の内、活用可能400件、中規模修繕120件、大規模修繕、または解体が必要な空き家80件となっており、回収率364件、60%で、未回答については、確認調査を行なっているところです。

●●中小河川の氾濫対策は

**鎌水** 市管理河川について、九州北部豪雨災害後の新たな対応、見直し、調査など行っているのか。

**市長** 小塩の側溝、24時間雨量226ミリ(時間雨量50ミリ)藤波ダム、24時間雨量128ミリ(時間雨量48ミリ)を記録し、豪雨後、7月6日現地調査の結果、市道の崩土があり、応急復旧工事で

対応し、また、市内河川において被害発生はなく、現在、市管理45河川の維持管理計画の見直しは行っていません。

**鎌水** 中小河川氾濫対策について、国土交通省や林野庁の発表で、うきは市に該当する地区は、**住環境建設課長** 県内27地区のうち、朝倉9地区、残りの地区については、今、県のほうに問い合わせ、確認をとっております。

**鎌水** 「タイムライン」中小河川流域ごとに作成を。

**市長** 水位計が設置されていない河川の策定については、福岡県とも協議し、検討をしていきたいと考えています。



氾濫対策が遅れがちな中小河川

## 電力契約を変更し大幅な経費節減を提案したが



いざやま しげき  
諫山 茂樹 議員

## 久留米市の協力で電力入札を実施しました(市長)

**諫山** 私は久留米市の幹部と話し、約30%約3千万円の効果を試算していたが、実績を伺う。

**企画財政課長** 九電の料金を予定価格とすると、年間約3千万円、率にして31%削減となりました。

**諫山** この約3千万円もの経費節減は投資額不要で投資効果も高く、提案を理解し果敢に素早く挑戦された事に高く評価すると共に今後職員の行動指針に素早い対応を明記されたら如何か。

**市長** 時代に合った素早い対応は必要につき前向きに対応します。

### ●●ブランド力の更なる向上について

**諫山** 人的特性や自然的特性と生産品を結び付けて、地理的表示G-I保護制度に登録申請し、商品の有利販売に繋げるよう提案する。

**市長** 重要な事と考え、関係団

体と連携して認定制度を活用したブランド化を研究し進めます。

**諫山** 農業生産工程管理GAPの認証を取得し、所得増大品質向上ブランド力向上の取り組みを。

**市長** GAP認証にて、より良い農業生産で安全を確保し、ブランド力向上に繋がるよう協議を進めます。

### ●●市長の海外視察について

**諫山** うきはテロワール推進に参考になる事はなかったか。

**市長** 今後調査研究し、活用について考えていきます。

**諫山** オランダは幼児教育に力を注いでいると聞かすが実状は。

**市長** 幼児教育は進んでおり、要請あれば協力するとの事でした。



電気料金削減に関連する高電圧変換設備

## 市民の健康づくりについて



おおごし ひでお  
大越 秀男 議員

## 市民一人ひとりが健康

### 意識を持ってもらうことが大切(市長)

**大越** ウオーキングコースづくりはどうなったのか。

**市長** 国道210号バイパスコーズに目印や看板を付けるなど、歩く意欲を掻き立てる工夫を行い、多くの市民に利用していただけの検討をしていきます。

**大越** 健康増進にコミュニティ単位のコンクール方式を取り入れたらどうか。

**市長** ご提案は地域間の競争心が刺激され、一つの試みであると思いますが、まずは市民一人一人の取り組みが地域で根付くよう進めていくことが大切であると考えます。

### ●●白壁交流広場の有効活用について

**大越** 旧市街地が寂れていく中、広場の有効活用は大きな課題と思うが。

**市長** 有効活用は必要と考えており、今後、商工会、観光協会をはじめ、関係者のご意見もい

ただきながら、活用を検討を行います。

**大越** 更地分の利用計画はどうなったのか。

**市長** 空き地のままは好ましくないと考えており、地域に賑わいをもたらす拠点施設として今後も検討してまいります。



有効活用は大きな課題だ!



## 鳥獣解体処理の ジビエカー導入



みその さんじろう  
三園 三次郎 議員

### 処理施設がないときは市では有効な手段(市長)

**三園** 山間地域では、人口減少と鳥獣被害により営農意欲の喪失、耕作放棄地の増加など、農業の経営放棄が懸念されていて、農業振興策で鳥獣解体施設の要望があつたが、捕獲獣をその場で解体処理、冷蔵し、運搬が可能な処理施設を備えた自動車が完成した、山村振興基金で導入できないか。

**市長** 近隣に処理加工施設がないときは市のような場所でジビエの利用ができれば有効な手段と思われれます。ジビエカーの導入、処理加工施設の設置は、先進地の取り組み、地域の方々が有害鳥獣駆除の意見を参考に慎重に検討を重ねていきます。

#### ●● 行政区加入をセットに 出生奨励金条例を制定

**三園** 人口減少を抑止するため新たな施策として、行政区加入をセットにした出生奨励金支給条例を制定できないか。

**市長** 行政区への加入を条件とした祝い金制度は、憲法上の問



高知県橋原町は、夢の「ジビエカー」第1号車を導入

題があり、条件を付すことは適当でないかと判断しています。

**三園** 憲法に違反する条例とはいつてないが、行政区未加入世帯が増えているので、行政区に加入してないと、奨励金は支給されないとする条例の制定を要請している。

**市長** 身の丈に合った財政運営のご指摘があり、いかに効率的な施策を心がけていますが、行政規模の相違、相当の財政支出の課題など、ご理解ねがいます。

## 学生議会で市政参加型を



うえの きょうこ  
上野 恭子 議員

### 執行部、市議と協議し取組みを図りたい(市長)

**上野** 自分達の思いを発する機会をつくつてあげる事は大事。

**市長** 然るべき時期にそのような方向、対応をさせて頂きます。

#### ●● 改正個人情報保護法と 生活保護法について

**上野** 円滑な災害時対応が出来るよう、区長、自治会長にも地域住民名簿の情報開示をし、行政のアンテナを広げていく事が非常に大切と思う、また新生活保護法は自立対策として行われているが、隠れ(生活) 困窮者の把握と関係機関の連携努力はされているのか。

**市長** 災害時避難行動要支援者名簿を関係機関に渡し支援者選出を各区にお願ひしています。

また、生活保護に至る理由色々ありますが、問題点を的確に把握し見合った支援指導を行い、隠れ困窮者についても関係機関と連携し粘り強く取り組みます。

#### ●● 市民公園設置について

**上野** 各所の児童遊園は遊具の傷みや日陰、狭い等があり社会状況も変わっており精査し、集客地の近くに子育て支援や人口増対策の一環として広域的市民公園を考えて欲しいと思うが。

**市長** 公共施設総合管理計画に基づき適切な維持管理に努め、公園としての活用の在り方立地条件も含めて検討する必要性を認識しているところです。

#### ●● 市民サービス案内窓口設置を

**上野** 市民課にお尋ね窓口を設置して欲しいが。

**市長** 接遇研修指導の中で、ニーズを把握した上で検討します。



子ども議会と並行して学生議会を

学校における食育の推進は  
どのように行われているのか



なかの よしのぶ  
中野 義信 議員

## 各学校長のリーダーシップのもとに

推進しています(教育長)

**中野** 早寝・早起き・朝ごはんを勧めているが、朝食を食べている児童・生徒の割合がだんだん下がってきている。

うきは市の小学6年生で81・3%、中学3年生で75・7%、

全国平均では、小学6年生で87・3%、中学3年生が83・3%であり、小中学校とも全国平均を下回っている。児童・生徒や保護者に対して、食への理解を深めることが大切ではないか。

**教育長** 保護者に対し各学校で学期末PTA等を活用した給食試食会、家庭を対象としたパンフレットの作成、配布、栄養教諭等を活用した保護者向けの栄養指導や研修会等を実施し、児童・生徒の食に関する家庭への情報提供、働きかけを行っています。

### ●●● 小学校の空調設備は

**中野** 温度測定結果と対応は  
**教育長** 教室等の温度は10度以上、30度以下が望ましいとなっています。30度を超える日が、吉井小学校で29日ありました。

**中野** 一番高かった温度は  
**教育長** 千年小学校の37度です。

**中野** 子供さんは、地域の宝だと言う割にはスピードが遅い現状を調査する、そして、いつまでにどうすると、その辺が非常に大切ではないか。学習環境の整備は、市長、教育長の役割だと思っ。

**教育長** 各小学校の温度調査の結果、あるいは財政的状況を勘案しながら検討を進めてまいります。



最高温度37℃を記録した千年小学校

## 農業委員会の新体制は



いさわ たつろう  
岩佐 達郎 議員

## 顔の見える委員会活動が重要(市長)

**岩佐** 農業委員会と農地利用最適化推進委員の業務区分、連携の在り方を明確にし、研修と市民への周知も必要では。

**市長** 農地や担い手の状況に応じて農業委員と推進委員が連携して現場での活動に取り組みることが重要で、市独自の研修のみならず、情報の収集に努めてまいります。

委員の活動に当たり、広報等でその活動内容について市民へ周知を図ってまいります。

**岩佐** 農業委員会事務局、新体制になった場合、強化が必要ではないのか。

**市長** 当面は現行体制で進め、適宜適切に判断していきます。

### ●●● 小学校の統廃合

**岩佐** 姫治小学校廃校後の有効活用と地域振興は。

**市長** 廃校後の有効利用については、所管課連携を図りながら情報共有を図っています。

民間の力を活用し、地元で雇

用の発生と経済的活力が生じる活用を検討していきます。

また、総合的な地域振興策を検討するために、庁内に関係各課横断的な地域振興検討会を結成し、検討を開始し、今後、新川、田籠地区の方々に具体案を示し、意見を伺い進めます。

**岩佐** 妹川、小塩地区で同意が頂けない場合、どうする。

**市長** ぜひともご理解を頂くと言うことで、腹を据えて、しっかりと説明に取り組みます。



有効活用図れるか(姫治小学校)



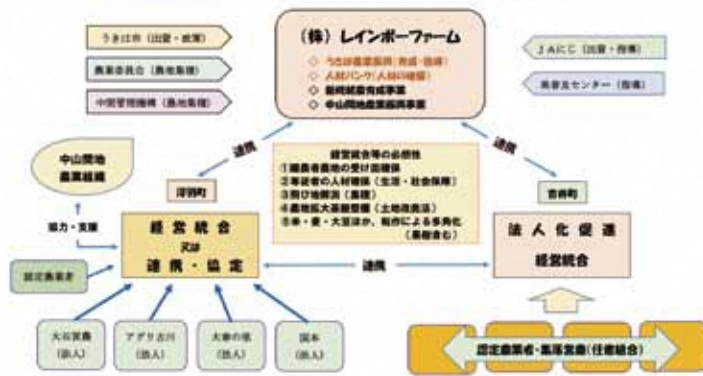
# 生き残りをかけた「うきは」農業「振興構想(提案)」



えとう よしみつ  
江藤 芳光 議員

ご提案のとおり地域農業を支援して行きます(市長)

## 生き残りをかけた「うきは農業」振興構想(5年後)

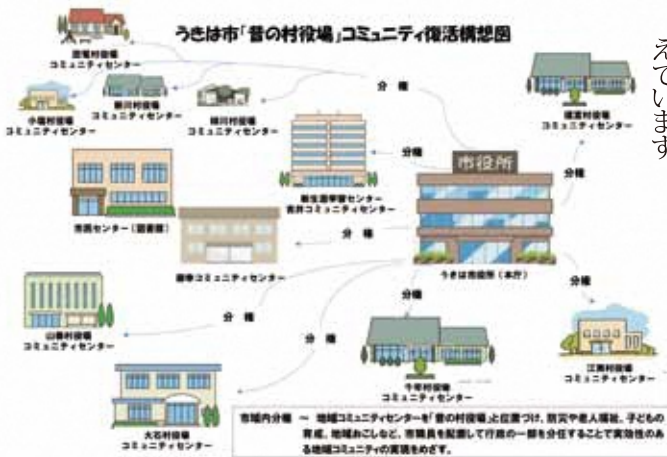


**江藤** 高齢農業者の引退が5年後にピークを迎える。その対策イメージ構想を描いた。所見を伺う。  
**市長** 法人化等を進め、経営の効率化、農地の大区画化等を図ることが重要であり、しっかりと地域農業を支援していきます。

### ●●● 地域コミュニティあるべき姿

**江藤** 昔の「村役場」による市内分権(職員配置と一定の権限付与)による身近な自治を提案する。

**市長** 「市民協働まちづくり条例」に基づく、市役所とは独立した小さな自治体になりたいと考えています。



# 袋野の田代池は、地震で危険な状態なので、改修工事が急務だ



くまだき かずあき  
熊懷 和明 議員

市として県へ防災減災事業として、改修要望をしています(市長)

**熊懷** 亀裂がはいり、二か所に水漏れがあり量も増え、池の下に住んでいる人達は、大雨の時には、心配で夜も眠れずに池まで見に行っていると聞くと、防災面での対応や考えを伺う。

**市長** その多面的機能や下流域の人家の所在等により、防災上も早期な対応が必要と考えます。

### ●●● 湛水防除事業

**熊懷** 中園地区の赤尾川から暗渠排水口を設置しても限上川へは流れにくい、管理はどこか。

**市長** その排水路の施設管理は移管先が不明なので、早急に管理主体の確認を行い、今後現地調査を実施したいと考えます。



赤尾川から限上川への暗渠排水口

### ●●● 国本の治山ダムは

**熊懷** 県は、設計も出来、工事はする方向でいる。今は市の保安林指定同意書を持っている状況だが把握しているか。

**農林振興課長** 今、保安林指定同意の徴集に努めています。

### ●●● これからの農業や林業は

**熊懷** 狭い農地は担い手がなくなり放棄地がふえると思うが、5年後はどうして行くのか伺う。

**市長** 大規模農家ばかりで地域農業が成り立つ事は無く、小規模な農家の営農活動により地域農業を維持する事も大切です。

**熊懷** 木質バイオマスは止めるのか、進めるのか伺う。

**市長** 化石燃料の代替えとして木質バイオマス燃料を利用すれば二酸化炭素の排出を削減できます。

地域の木材を活用し未利用間伐等の活用を生み出し、林業経営に寄与も期待できます。

## 内閣府の募集に提案を



たかやま としえ  
高山 敏枝 議員

### 今後、提案出来るよう取組む(市長)

**高山** 民生委員の方が個人情報保護法で困っていると聞いたが、国も地方が困っていることを改革する為、提案を募集している。現場の声を提案しないのか。

**市長** 市の民生委員の活動に支障は無いが、九州市長会で、より優れた行政体制を可能にする法律を要望しています。

**高山** 他市で、国へ提案した職員を市長が表彰し、職員教育に効果があり、職員も国を変える喜びになるとの事。

市から提案を考えないか。

**市長** 勉強し、しっかり国へ提案できるようになれば市民から頼れる職員に成長すると承知します。やれるものについて考える力を促す取り組みをさせていただきます。

### ●●●市民の野菜摂取拡大について

**高山** 市長は市民の野菜摂取が少ないと言われている。

子どもは学校で農業体験をするが、家は野菜を作らないので

家庭での野菜摂取拡大に保護者の野菜作りを進めないか。

**市長** 庭先野菜栽培は有効と認識しており、市民が野菜作りにより関心を持つ方法を検討します。

**高山** 畑がなくてもプランターでできるし、市職員でPTAに係る方が多いので、市職員による野菜栽培、それも野菜で健康を守るミネラル野菜栽培を提案する。

**保健課長** 係りで、なるべく実践できる様に検討させて頂きます。



内閣府が募集する提案案内と改革事例集

## 学童保育支援員の

### 処遇改善は

### 支援員キャリアアップ

### 処遇改善事業補助金で取り組みます(市長)



いわぶち かずあき  
岩淵 和明 議員

**岩淵** 平成27年運営費補助金は370万6千円、今年は430万6千円と約15%アップをどう捉えているか。

**市長** 子供・子育て世代にもしつかり光を当てるといふ中、支援員さんの処遇改善を含めた運営費補助基準額の増額がなされてきたと十二分に承知をしております。

**岩淵** 主任手当等各学童バラバラで、うきは市自体が考えを持っていない、早急に指針を作れないか。

**市長** 平成27年から国の明確な運用基準がある中で、何故市内8つの学童保育所の統一的な基準を示せないかと言う指摘で有ろうと思います。

**福祉事務所長** 処遇改善指導は継続的にやってきたが、保育料の値上げにつながるのではないかとこの思いと税金の扶養基準との関係で出てこない現状です

が、市としての指針は今後検討してまいります。

**岩淵** 国保の新制度で、納付額の試算が示されているが、うきは市の一人当たり税額の水準について伺う。

**市長** 最終的な納付金算定は平成30年1月上旬になるが、被保険者の実質的な負担となる1人当たり納税額は、平成28年度決算で9万9893円、新制度によるうきは市の納付金伸び率が95・7%なので、医療係数や所得係数、被保険者減少等を考慮しても若干低く推移すると考えております。



児童を育む学童保育の充実を



## 総務産業常任委員会

### ◆集落営農法人化の調査

調査日：平成29年10月2日

調査先：福岡県みやま市役所

出席者：総務産業常任委員・

J A にじ・浮羽森林組合・市職員

### 調査要旨

うきは市では4組合が法人化して以来、進んでいませんが、みやま市では「集落営農100%法人化・37組織が年度内に」と法人化推進がなされているため視察しました。

### 法人化への基本的考え方

#### ①法人化推進の戦略

「どうにかして法人を形成」をスローガンに方針を掲げた。

#### ②法人化の目的等

後継者がいない農家のための受け皿と農地等の環境保全。

#### ③目指す法人の概要

法人に農地を集積し、作業の効率化を図る。

#### ④農事組合法人の構成員要件

地区内に居住する農民若しくは農地を預託し、作業に従事する者。

#### ⑤法人経営の基本方針

これまでの任意組織（機械利用組合）を基本とする。

以上を基本に、市・J A・普及センターで各地域に入り、各組織に「法人化をいつまでに」と期限を決めてもらい、スケジュールを逆算して進めていました。

### 所見

今後・将来の危機的イメージを示し、法人化移行へのメリツト等を農業者に説明して、期限を切って全域を法人化させた功績は大きいと感じました。



みやま市役所視察

### ◆林業に関する調査（山林保全の取組）

調査日：平成29年10月2～3日

調査先：宮崎県諸塚村役場

木材流通加工センター

出席者：総務産業常任委員・

浮羽森林組合・市職員

### 調査要旨

先進地における木材等の活用・普及実態を把握するとともに、環境の源である山林保全の实情と調査・研究を目的に「森に生きる林業立国」で知られる諸塚村を視察しました。

### 主な内容

#### 一、事業の概要

①林道整備（循環道路の整備・林内路網密度は全国トップクラス）

②林地村外移動防止対策

③林業で「F S C 森林認証」取得

④木材流通加工センターを運営

⑤「諸塚村産直住宅」を建設

#### 二、林業の人材確保・育成

①農林業後継者育成支援事業補助金交付要綱の制定

②諸塚村「森林を守る雇用拡大事業」地方創生交付金の活用

③ウッドピア諸塚（村・森林組

合・J A が設立）林業後継者育成

### 所見

諸塚村は95%が森林という、まさに林業に生きる村そのものでありました。木材生産から出荷に至る一連の業務、特に全国に先駆けて設立された第三セクター「木材流通加工センター」に関心を寄せましたが、論点は今後・将来に向け、この広大な森林を誰が守るか、要は将来の林業を担う若者の人材確保・育成に直結する処遇等に浮羽森林組合とも重ねながらの論議に集中しました。



諸塚村木材流通加工センター



◆林業に関する調査（浮羽森林組合）

調査日：平成29年11月6日

調査先：浮羽森林組合及び

小塩笹の隈の市有林現場

出席者：総務産業常任委員・

浮羽森林組合・市職員



小塩笹の隈の市有林調査

調査要旨

諸塚村での林業調査・研修を受け、地元「浮羽森林組合」の実態を把握する必要があるとして、組合に調査の受け入れを依頼したものです。

所見

木材価格の低迷と人材確保は共通しているものの、山こそが水と空気を保全する生命の源で

あり、現場は機械化による作業の合理性や安全性が確保されており、政府が林業政策を全面に打ち出している背景において、今後の展開が期待されます。

◆下水道接続に関する調査

調査日：平成29年11月16日

調査先：市役所第一委員会室

調査要旨

今回の調査は、これまでの継続で

①未接続事業所等の接続推進

②接続枡が設置されていて、未接続住居等の設置推進

③中山間地域等における未設置の浄化槽設置推進

所見

全行政区ごとの設置、未設置データ資料をもとに検証しました。

事業所等の総数870件のうち未接続は281件、接続率は67・7%となり、一般世帯の70・6%より低い数値を示しています。今後の方策として、枡が設置されていて、加入されていない住居等に対して接続推進のアンケートを実施することになりました。

厚生文教常任委員会

◆うきは市データヘルス計画の進捗状況に関する調査

調査日：平成29年10月23日

調査目的

28年2月策定のうきは市保健事業実施計画（データヘルス計画）について、うきは市の1人当たり医療費が上昇する中、実施状況の調査を行いました。

調査結果

国民健康保険加入者の特定健診受診率は平均40・7%、受診勧奨の電話や訪問を行い、検診率を上げる努力を行っています。

特定保健指導は生活習慣の改善予防のため実施しています。「広報うきは」の「げんきアップ」健康管理情報で啓蒙活動をしています。

保健指導の成果は、重症化予防対象者の推移、高血圧、糖尿病、脂質異常ともに確実に減少し、治療を受けない割合も低下しています。

糖尿病や慢性肝臓病等の重症化防止に取り組み、脳卒中・心

筋梗塞等心血管疾患や人工透析患者の発症や進行を遅らせるよう医師と連携し栄養指導・保健指導を実施しています。

所見

各種成果指標も改善し分析と対策の重点化はできたが、市民の健康づくりや医療費削減の横断的な取り組みが課題と言えます。

急速な高齢化や疾病に、国保データベースを活し、健康、医療費削減の方針を更に進められるよう求めました。

◆スマートウエルネス（SWC）事業に関する調査

調査日：平成29年11月7日

調査先：新潟県見附市

調査目的

見附市では産学官で組織する「スマートウエルネスシティ（SWC）首長研究会」を立ち上げ、科学的根拠に基づく運動と健診・医療レセプトデータを活用した健康まちづくりを推進しています。

高齢になっても健康で地域に暮らせるまちづくり、体力増

進・都市環境・教育・交通網・食事・社会的なつながりなど多岐で総合的な施策状況を視察しました。

### 調査結果

うきは市同様に少子高齢・人口減少の街で、社会保障費の負担が増加する中、健康施策を平成14年ごろから「運動」「食生活」「生きがい」「健（検）診」の取り組み、体力年齢の若返り等医療費抑制の効果は得られていました。

しかし徐々に参加者が頭打ちで、事業効果は限定的でした。市民参加を底上げできるツールを模索し、SWCで「健幸」なまちづくりを基本に据え、他市と連携し、普段の生活に必要な運動量が満たされる「歩いて暮らすまちづくり」を進めていきます。

### 主な質疑

**Q**…複数に渡る所管事業は、どのような推進体制なのか。

**A**…企画調整課内に課長補佐が5人で各々所管課を持ち企画会議で、予算調整や連携を図っています。



見附市SWC研究会の視察

- ① ・社会参加(外出)のできる場づくり  
・社会貢献の機会を提供
- ② ・都市機能を集積し、歩いて過ごせる便利な市街地づくり
- ③ ・歩きたくなる歩行空間の整備
- ④ ・住民が主体的に地域コミュニティを構築
- ⑤ ・過度な車依存の脱却を可能とする公共交通の再整備
- ⑥ ・地方都市存続のためのまちづくり基本方針の策定
- ⑦ ・人材育成(市職員のスキルアップ・行動変容)

**Q**…健幸クラウドのデータはどのようなものがあるのか。  
**A**…国保と後期高齢、協会けんぽで全体の約7割、3割は大企業の手企業の健康保険組合です。

### 所見

面積や地理的条件でSWC形成に有利だが「歩いて暮らすまちづくり」は、市街地中心に都市機能を集中化し、既存集落・周辺地域を結ぶ「公共交通機関の再整備」を行い、平成19年度利用者約5万7千人を、28年度は約14万8千人に増加、利用者ニーズ把握と、路線や時間帯、便数を改善した成果でした。

うきは市も高齢者を中心に交通弱者対策が求められ、施策に活かすよう学べました。

### ◆多世代健康まちづくり事業に関する調査

調査日…平成29年11月8日

調査先…新潟県長岡市

### 調査目的

健康機器メーカー(株)タニタが参加する「多世代健康まちづくり事業」を行政と連携共同実施する事例を視察しました。

### 調査結果

生活習慣病リスク軽減と介護予防が求められる中、内閣府の「特定地域再生事業補助金」を活用し、平成25年度産学官連携



長岡市多世代健康まちづくりの視察

モデル研究会を設立し、健康増進と中心市街地活性化を図る「多世代健康まちづくりプラン」を推進し、食事業で「タニタカフェ」の満足感ある食事を提供しています。

運動事業は「タニタ健康くらぶ」で、活動量計などを使い、からだの変化を「見える化」し、楽しみながら続ける取り組みを行っています。

### 所見

うきは市の健康施策は「食事」「運動」「休養」で、健康ニーズは高まると考えられます。

平成30年4月の改正介護保険法施行に合わせ、国の動向を見据えていきたいと考えます。

平成29年度議会報告会で出されました意見・要望の回答について、議会では重点項目を選び再度質問しました。

## ◆自治協議会の振興事業について

**問** 「市民運動会よりも、地域運動会をやるべき」との提案に対する執行部回答は、「機運が高まれば…」とあるが、高齢少子化による人口減少が進み、地域コミュニティが希薄化する実情においては機運が云々ではなく、中山間地を参考に、まさに「今」着手すべき事業ではないのか。

**回答** 今後、地域コミュニティの推進を目的に全ての自治協議会が地域運動会を開催する状況になった場合は検討いたしますが、現在のところ市での開催を継続していきたいと考えております。また、多くの市民が参加いただけるよう努めてまいります。

**問** 自治協議会の施設等整備については、「順次計画的に整備している」とあるが、地域差の不満も多い。大石地区の駐車場拡張要望には「今後検討」と回答しているが、今後とはいつごろを指しているのか。(大石地区へ男女共用のトイレ改修を含む。)

**回答** 江南コミュニティセンター及び浮羽町域のコミュニティセンターについては、財政面及び緊急性、そして地域バランスに配慮しながら計画的に整備してまいります。なお、大石コミュニティセンターの駐車場整備及びトイレ改修の必要性は理解しているところであり、時期は確定しておりません。

**問** 地域コミュニティ推進課題の根源である未加入世帯問題は、「各自治協議会と引き続き協議」と回答しているが、自治会任せのような対応では何ら解決策は見いだせない、市を挙げて根本的な解決に向けた市の真剣な取り組みが必要であり、その意気込みを問う。

**回答** 加入促進月間の設定等、自治協議会や各区長とも連携を取りながら対応していきたいと思っております。

## ◆消防防災について

**問** 自然災害が多発する現状においては、消防団員の確保は、まさに喫緊の課題である。「定数を含め消防委員会に諮問している」との回答であるが、諮問の概要は、さらに答申はいつごろ出る予定か。

**回答** 将来に向け少子高齢化や人口減少等社会情勢が変化する中

で、消防団の団員定数、分団の配置、分団定員、消防車両数を含め、消防委員会に諮問し検討していただいております。



出初式での消防団員の表彰

## ◆農業振興について

**問** 昨年から要請している中山間地における「畦畔コンクリート化」については検討中とあるが、検討の現況を問う。

**回答** 他市町村の取組み等も情報を収集し、検討しているところです。

また、他の市町村においては、畦畔や法面などの雑草抑制のため「センチピードグラス」という種子を吹き付け緑化させて、除草作業を軽減化する取組みも行っていますので、そのような事例も調査・研究して、中山間地農業の作業負担の軽減を

検討していきます。

**問** 特に小塩地区は、山村の自立振興に総力を注いでおり、過去に頓挫した真美野地区の農業振興再開、さらに小塩沿線は住宅用地の確保が困難なことなど、注目される山村振興の見地から住宅等用地の造成等が強く望まれているが、市の意向を伺う。

**回答** 今年度に備うきはレインボーフアームの取組みとして、耕作放棄地や耕作放棄が見込まれる農地約2ヘクタールを活用して、中山間地における農業の振興に向けて実証栽培を始めています。

この取組みをとおして、中山間地における推奨作物の検討や新規就農者の育成・確保につなげていきたいと考えています。当然ほ場整備を実施していれば、農振農用地の区域であり、農地転用を行う場合は農振農用地の転用許可、さらに農地転用の許可が必要となり、国庫補助事業の受益地では、第1種農地となり転用は厳しい条件が付されます。空家の有効活用及び良好な維持管理を行って頂くための事業推進をすすめています。まずは空家・空き地の活用をお願いします。



◆山村振興及び観光資源の管理並びに開発について

問 妹川元有の「調音・魚返り・斧淵の3滝」及び「三志毛の滝」はうきはが誇る貴重な地域資源であるが、管理が不十分との指摘を踏まえ、この際「合瀬耳納トンネル開通を機に、調音の滝から三志毛線、さらには耳納スカイラインに通じる「滝巡り道路」の整備を求めらる。

回答 地元の有志により発掘された三志毛の滝については、これまで地元の皆様により維持管理していただきました。今後とも、地元の宝として守り活用していただきたいと考えております。

「滝巡り道路」につきましては、現在、市道三志毛線と林道三志毛線で調音の滝から耳納スカイラインへのアクセスが可能であり、全線舗装済となっております。造林事業に伴う木材搬出についても、既設道路で支障は無い状況であり、現在拡幅についての計画はありません。

◆JA北九州ファームによる養豚業の進出問題について

問 本件の進捗状況と、今後の対応を伺う。

回答 事業主体による説明会や現在稼働している玉名農場の現地視察にぜひ一度ご参加いただ

き、特に事業主体が配慮していただきます臭気や汚水処理など環境面の対策を見学していただいて、事業に対するご理解をお願いしたいと考えております。

◆地方創生について

問 ルネッサンス戦略の進捗状況とPDC Aサイクルで評価を行い、雇用や人口減少、地域振興の目標値と達成度を示して、市民に広報するように求める。

住民代表が参加している「ルネッサンス戦略推進協議会」の審議(年1回)内容と議事録を公開しては如何か。

回答 ルネッサンス戦略の進捗状況や評価等につきましては、産官学金労言及び市民代表の委員26名で構成するルネッサンス戦略推進協議会やうきは市議会へ報告・検証し、協議会の会議資料や議事録をホームページに掲載しています。今後も引き続きわかりやすい情報公開に努めてまいります。

◆交通弱者対策について

問 御幸・福富・江南からよせられて、地域交通手段確保について、利用ニーズに適した対応が必要なので、福祉部門や交通部門などの関係者で総合的な検討を進めているとしているが、どここの機関で検討し、いつ頃に具体策を策定するのか、方針を示すこと。

回答 御幸、福富、江南自治協議会から寄せられている地域交通手段の確保については、現在、江南校区における地域包括ケアシステム構築のための「協議の場」で先行的に協議を進めていきます。

校区住民や福祉委員、民生委員のほか、医療介護を含めた事業者、社会福祉協議会や行政職員(企画調整係や地域包括支援係、コミュニティ支援係)、その他参加を希望する方が自治協議会に集い、意見交換を行っています。

◆地域振興について

問 つづらコールセンターの来年度廃止の検討と表明しているが、継続しない理由、利用者への説明など、全体事業継続の可否を含め説明が必要。

回答 この事業は5年間のモデル事業であるため、平成29年度で事業は終了する事になります。利用者には喜ばれている福祉事業は継続させたいと考え、行政負担は無くし、やすらぎ会に事業を引き継ぐ方向で協議を行っています。継続し、事業の取組を見守りたいと考えています。

また、つづらコールセンターの事業継続については新川地区に対する説明を実施したいと考えております。

請願・陳情

◆請願

浮羽カントリークラブ(CC)へのアクセス道路拡張に関する請願  
審議結果  
9月議会で更なる現地調査など、継続審査となつていますが今議会で採択。

◆陳情

「うきは市議会基本条例第7条の見直し・改善等について」  
陳情者 うきは市吉井町 中島 健一

陳情内容

1 議会基本条例第7条の見直し改善について

- ①改正前の「事項の実行性を高める方策及び市民の知る権利を保障するため」の主旨を改正条文に入れること。
- ②改正文の「〜できるものとする」を「〜設けるものとする」に改めること。
- 2 議会基本条例第7条改正が、同第25条、改正手続きが同第27条に抵触するかの検証をし、結果報告公表のこと。

審査結果

議会運営委員会に付託され、継続審査となりました。

# 地方行政への関心と参画を

## ① 議会傍聴を体験

## 啓発活動として

## ② 投票率UP

12月定例議会の一般質問を県立浮羽真館高校の生徒会（18名）が、佐藤校長、山室先生とともに傍聴しました。  
主権者教育の推進と、政治的教育を育む学習の一環として、企画されました。



県立浮羽真館高校生徒会の傍聴

18歳以上選挙の全国初が平成28年7月のうきは市長選挙でした。  
これを契機に市政への参画推進に努めています。

新成人を迎えられた皆さんの門出を祝する機会に、新成人350人と参列者に、冊子「有権者として知っておきたい選挙の知識」を受付の際に、選挙管理委員会、市議会議員、市職員幹部とともに配布いたしました。



成人式会場での冊子配布

## 傍聴へどうぞ 3月議会は3月2日(金) 開会予定

一般質問は3月5日(月)、6日(火)の2日間行われる予定です。  
\*インターネットの配信を、ライブ中継、録画放送で行っています。  
QRコードからでもアクセスできます。



## うきは市議会議員の改選について

### 日程

告示日 4月15日(日)  
投票日 4月22日(日)

## 編集後記



平成30年を迎え、穏やかで心豊かな年にならんことを、望むものです。  
全国的な人口減少、少子・高齢化、農業の担い手不足など課題山積の中、夢と希望に満ちた「うきは市のまちづくり」を市民の皆様と、行政・議会とともに推進し、みんなが誇れる、そして愛される郷土を目指したいと思っているところです。

現在、「議会だより」の編集をやっています広報広聴委員会は、残り余すところあと1回となりましたが、今後ともご愛読いただきますよう、よろしくお願いたします。

(藤田)

発行責任者	議長	榊川 正男
	副議長	藤田 光彦
委員	委員	中野 義信
	委員	熊懷 和明
委員	委員	岩淵 和明
	委員	和明 和明

## 広報広聴委員会

議会事務局 TEL 75-4990  
FAX 75-3342